

## 編集後記

- この“きび考”7号が皆様の手元に届く頃には、平成25年(2013)の新春を迎えられ、新しいスタートを歩んで居られることと存じます。寄稿を戴きました皆様には年末の多忙期に執筆戴き有り難うございました。
  
- 24年度の総会後の役員会(7月3日)で、若狭会長の役務休職の申し出があり、規約により残り任期を延原・丸谷両副会長に担当して戴きました。延原氏は備前焼作家の他に、備前市文化財保護委員に就任され、丸谷氏も年末には入退院が重なりました。現在は快方で体調の調整中と伺っています。
  
- 当会の探訪会は、2月中旬(10・11日のどちらか)に吉備高島説の第2弾として、岡山市四御神(しのごぜ)界隈を探索したいと考えています。案内は矢吹壽年氏で彼はこの地が「風水」の地として熱い想いをお持ちです。平安時代の式内社からの由来の土地でもあり、近くには備前車塚古墳(前期古墳で前方後方墳)に三角縁神獣鏡が13面も出土した「意味深」な場所です。

参加希望者は事務局まで連絡下さい。後ほど企画書をお届けします。
  
- この会は特定の『説のみ』を対象にしている事は、平成23年度の総会で新しく「設立宣言」を併せ規約化しているところです。

当会の有志三名で、『若狭哲六氏の研究に学ぶ』交流講座を24年8月26日から開催されています。毎月第2土曜日に開催されていますので、ご希望の方は高森氏(TEL・FAX=086-255-6088)まで問い合わせ下さい。
  
- 次号の寄稿文をお待ちしています。 編者

# “きび”考

第7号 2012(平成24)年12月31日発行

発行 日本先史古代研究会

会長 若狭哲六 706-0022 岡山県備前市東片上 771

事務局 702-8002 岡山県岡山市中区桑野 504-1 山崎泰二方

電話=086-276-6654 FAX=086-276-2241

メール=senshi@bosaisystem.co.jp(事務局専用)

編集委員 井上秀男 延原勝志 樋口俊介 本松一郎 丸谷憲二

濱手英之 山崎泰二(事務局長兼編集委員長)